

万緑一紅

発行者 第1学年教職員

あたりまえをあたりまえにする

今年も残すところあと1か月と少しくなりました。2学期終業式までの登校日はあと25日。そして、2学期の学習面での締めくくりである期末考査まであと16日です。良い年末を迎えられるような学習計画とその実践ができていますでしょうか。学力の向上とその成果のためには、もちろん、毎日の授業への積極的、主体的な取り組み、自学の時間の確保とその高い質が求められます。

加えて求められるのは、日々の落ち着いた生活と実直で謙虚な態度だと思います。クラスメイトや学年の仲間を見てみてください。勉強に限らず、部活や委員会活動、課外活動などに懸命に励み、成果を残している人の日常はどのようなものですか。おそらく、勉強「だけ」、部活「だけ」、〇〇「だけ」の人は少ないでしょう。前置きが長くなりましたが、47回生のみなさんの日々の学校生活、1日24時間の過ごし方はいかがでしょうか。



「特別なことはしていない。日々やるべきことをやるだけです。」

大谷翔平選手(2015年 北海道日本ハムファイターズ所属時 プロ3年目インタビューにて)

2学期も折り返しを過ぎ、高校生活のリズムも馴染み、クラスや学年、部活などで交友関係の輪も広がってきたように見受けられます。その中で、服装、交通マナーの乱れ、登校時間の遅れ、授業準備と態度、課題の未提出、清掃活動への取り組みなど…入学時にはもう少し高めに設定されていた「あたりまえの基準」が低くなってきていませんか。西高に入学してきたときの「初心」は心の片隅にでもありますか。

最近の47回生の様子を見ていると集団の「弱み」が出てきているように思います。周りの人の基準がこの程度だから自分もこれくらい。周りのあれが許されているなら、自分も…なんて集団の「あたりまえ」が知らず知らずのうちに低い水準になってるのかもしれない。

2025年は皆さんにとって変化の大きい年でした。受験生として迎えた新年から3月に高校入試を迎え、4月には西高生となりました。環境の変化に対応する中で、君たちが今までできていたこと、大切にしてきたこと、あたりまえにしてきたことは継続できていますか。皆さんは義務教育を終えて、今、高校生としての日々を送っています。自由や自己責任の範囲が広がった分、先生や親、周りの大人たちに、手取り足取り指示されることも、とやかく注意されることも、あれこれと叱られることも少なくなってきたはずですし、少なくなっていなくてはなりません。それは求められる基準が下げられ、楽ができるようになったのではなく、これまでにつくってきた自分の「あたりまえ」が今、いち高校生として試されているということです。もう一度、自分の「あたりまえ」を見直し、作り直してください。47回生のみなさんが、2025年をよい1年だったと振り返ることができるような取り組みを積み重ねてくれることを期待しています。

総合的な探究

11月に入ってから総合的な探究の時間で「金融教育」の授業が行われています。

今週月曜日にはキャリア教育の一環で金融教育講演会が開催されました。自分のこれまでの養育、教育費として何千万円という金額が費やされていることへの驚きの声とともに、保護者の方への感謝がしみじみと湧き上がってきたようです。

近い将来の進路選択ももちろん大切ですが、もう少し先まで見通しを持って、お金のこと、人生のことを考えるきっかけとしてください。



12月スケジュール 変更・追加は追って連絡いたします

5(金)~11(木)	期末考査	22(月)	2・3限 進路ガイダンス
11(木)	部活動大清掃 総ヒュ校外学習	23(火)	生徒会立合演説会
19(金)	球技大会	24(水)	大掃除 終業式